

La lumière, les nuages.

La piraterie philosophique et l'invention de l'apeiron

(Light, Clouds. Philosophical Piracy and the invention of apeiron)



日時：11月24日（金）17:00～（入場無料・事前申込不要）

場所：東京大学駒場キャンパス 101号館 2階 24号室

言語：フランス語（ただし英語での対話も可能）

主催：東京大学大学院総合文化研究科附属「共生のための国際哲学研究センター」（UTCP）

講演者：Boyan Manchev（ボヤン・マンチェフ、新ブルガリア大学教授）

モデレーター：小林康夫（東京大学名誉教授）

アナクシマンドロスに由来する「アペイロン」というイデーがどのように地中海文化の哲学を横断していくのか。みずからも演劇活動に身を投じているソフィアの哲学者ボヤン・マンチェフが、本年、ブルガリアで舞台化されたかれの作品「雲」を出発点として、縦横に論じます。「雲と光と夜」をめぐる小林康夫との対話がそれに続きます。ジャン＝リュック・ナンシーの友人であるふたりが、フランス現代哲学の場のなかで、それを超えて、対話を実践します。当日、駒場は駒場祭で賑わっていますが、そのカオスのなかにも、もっと深い世界のカオスを見出したいのです。

